

生徒指導内規(2024年4月発効)

0)生徒指導の基本理念

入学誓約書で宣言した本校生徒としての義務と責任の自覚を促すことを基本理念とし、そこから逸脱する行動についてキリスト教学校の精神に則った教育的指導を行う。

1)原則

区分	職責者	指導内容	事案	手続き	指導形態 (1回目)	指導形態 (2回目)	指導形態 (3回目)	備考
通常指導 (注意)	担任 主事 部長 寮監 教頭	自己管理不足	起床就寝の乱れ	主任会 (寮監)	担任注意 (寮監注意) 面談指導	主事注意 (生活面) 部長注意 (学習面) 寮監注意 (寮生活) 面談指導 反省文	教頭訓告 ペナルティ ポイントの 申し渡し	訓告により ペナルティ ポイント 1点 保護者への 書面通知
			礼拝無断欠席					
			授業無断欠席					
			食品持込違反					
			電子機器違反					
			身だしなみ					
		迷惑行為	ドミトリー侵入					
			物品金品の貸借					
			暴言・強要・損壊 (比較的軽いもの)					
		風紀的逸脱	不適切な交際 (隠れて会う・身体的接触)					

区分	職責者	指導内容	事案	手続き	指導形態(1回目)	指導形態(2回目)	備考
特別指導 (懲戒)	校長	教育活動の 妨害	授業妨害	主任会 (寮監) 教員会議 校長判断	謹慎1日(校内指導)	謹慎3日(校内指導)	謹慎・停学の日数を ペナルティポイントと して積算する 無期停学は ペナルティポイント を8点とする 指導要録に記録 保護者への 直接説明 書面通知
			テスト不正行為				
		迷惑行為	暴言・強要・損壊 (程度の重いもの)		謹慎1日(校内指導) 謹慎3日(校内指導) (加害程度による)	謹慎3日(校内指導) 停学7日(帰宅指導) 無期停学(帰宅指導) (加害程度による)	
			暴力行為				
			いじめ		停学7日(帰宅指導)	無期停学(帰宅指導)	
		触法行為	飲酒		無期停学(帰宅指導)	退学	
			喫煙				
			万引き・窃盗				
			薬物				

2) 特別指導の具体的形態

a) 謹慎(1日・3日)

寮生活を継続できる範囲にある特別指導として適用する。授業は出席せず別室で面談指導・反省文・課題学習などを教員が付いて行う。校長への反省文と校長面談によって謹慎の解除を判断する。

b) 停学(7日)

寮生活を続行できないと判断される行為や複数回の特別指導となる行為について、帰宅を伴う特別指導として適用する。改善すべき課題を生徒(保護者)に明確に伝え、特別指導期間に生徒・保護者とオンライン面談を行い反省の深まりを見極めて解除を校長が判断する。

c) 無期停学

触法行為など重大な違反あるいは停学相当の行為の累積に対して適用する。改善すべき課題を設定して生徒(保護者)に伝え、いずれは学校生活に復帰させることを想定して指導する。(生徒・保護者には伝えないが)予め学校としての解除の目処をもって指導にあたる。解除の判断は校長による。

3) ペナルティ・ポイントについて

訓告・謹慎・停学の指導を受けた生徒に対して加点する。高等部は立教大学・他大学の学校推薦型選抜(指定校推薦入試)の総合的判断の要件とする。小中学部は高等部への進学許可の要件とする。累積8点で指定校推薦の資格、高等部進学の資格を失う。ただし小中学部からの高等部へのペナルティは積算しない。

